

今後の予定

1 行政検討会（遺伝毒性評価ワーキンググループ）

● 第 4 回（平成 26 年秋頃）

○ 既存情報による遺伝毒性の評価について（つづき）

※25 年度文献調査ではエームス試験データがなかったが、その後の調査で評価可能なエームス試験データ（「既存化学物質毒性データベース」のデータ）が見つかった物質

2 委託事業

(1) 遺伝毒性情報等の収集・整理（～平成 26 年度末）

- ・ 約 4, 000 物質について、発がん性情報及び遺伝毒性情報を収集・整理する。
このうち遺伝毒性情報については、比活性値や D20 値の確認・計算を含む。

(2) 遺伝毒性試験（エームス試験試験）の実施（～平成 26 年度末）

- ・ 約 50 物質について試験を実施予定。
- ・ ガス状物質や揮発性液体については、ガスばく露法による試験を実施。

(3) 遺伝毒性に関する構造活性相関の計算（～平成 26 年度末）

- ・ 遺伝毒性情報がない約 1,000 物質について計算予定。

(4) 非遺伝毒性発がんスクリーニング試験（Bhas42 細胞形質転換試験）の実施（～平成 26 年度末）

- ・ 16 物質について試験を実施予定。